

接合科学研究所 グローバル D&I 推進室活動報告 日本語学習支援者養成プログラム(発展編)

梅田 純子

グローバル D&I 推進室 室長

接合機構研究部門 複合化機構学分野 教授

2026 年 7 月 29 日(水)に、2021 度より接合科学研究所が本学日本語日本文化教育センター(日日センター)と連携している日本語学習支援者養成プログラムの発展編Ⅲ「外国人研究者の視点に立って考えるよりよい組織内コミュニケーション」を開催しました。

本プログラムは、日日センターが本研究所に所属する日本人教職員を対象として実施しているものです。留学生や外国人研究者とのコミュニケーションを英語だけではなく「やさしい日本語」を介して行うことにより、互いの理解を深め、研究環境のさらなる活性化を目指す取り組みです。これまでの基礎編～実験編～発展編Ⅱまででは、外国人研究者や学生らと関わる際に必要な言語的・態度的配慮について理解を深めるとともに、ケーススタディやロールプレイを通じて多様な価値観に触れ、互いの違いを尊重する姿勢を育み、より良い伝え方について考えてきました。

今回の発展編Ⅲでは、研究所の外国人研究者を対象に実施したインタビュー調査の結果が共有されました。その内容を基に、異文化との接触を疑似体験する異文化シミュレーションを実施しました。日々の自身や周囲の関わりを振り返り、外国人研究者の思いを自分事として捉え、周囲の日本人に気づきを促せるようになることを目的としました。ワークショップの終わりには、積極的に歩み寄ることの重要性について意見が交わされました。その一例として、「接合研らしい挨拶」を考案し、日常的なコミュニケーションのきっかけとなる共通言語として定着させていくことが提案されました。

また、本研究所に特化した日本語入門者向け講座「理系 VOD 日本語コース」を、日日センター藤平愛美准教授が開講し、本研究所から 2 名・核物理研究センターから 1 名の外国人教員・留学生らが受講しました。

今後も、本研究所に在籍するすべての構成員の多様性を尊重し、その力を最大限に生かせるよう誰もが学びやすい・働きやすい環境の構築を目指し、ダイバーシティ&インクルージョンの推進に積極的に取り組んでまいります。

